

平成29年度

事務事業評価表 A (平成28年度の実績評価)

記入年月日
平成 29 年 3 月 29 日

Table with columns for 事務事業名, 政策体系, 予算科目, 事業区分, 担当, 所属課, 事業期間. Includes details for '桜川市不当要求行為等対策事業' and '計画的・効率的な自治体運営の推進'.

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (事務事業の全体像) and ②担当者が行う業務の内容・やり方・手順. Includes text about staff safety and business efficiency.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with 7 columns: ①手段, ④活動指標, 単位, 27年度(実績), 28年度(実績), 29年度(計画), 30年度(目標), 31年度(目標). Includes rows for '講習会参加回数', '職員数', and '暴力団等の不当要求件数'.

(3) 投入量 (事業費) の推移

Table with 7 columns: 27年度(実績), 28年度(実績), 29年度(計画), 30年度(目標), 31年度(目標), 期間限定総投入量. Includes rows for '国庫支出金', '事業費計(A)', '人件費', and 'トータルコスト(A)+(B)'.

Table with 2 columns: 28年度事業費実績 (千円) and 29年度事業費 予算 (千円). Includes a '合計' row at the bottom.

(4) 当該年度の実施内容

Table with 4 columns: 29年度の事業内容, 30年度の事業内容, 31年度の事業内容. Includes a note about recording content by year and a list of main activities.

事務事業名	不当要求行為等対策事業	事務事業No.	10109000729	所属課	総務課
-------	-------------	---------	-------------	-----	-----

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 職員が公務を遂行する上で受ける不当要求行為等を未然に防止し、職員の安全と事務事業の適正な執行を図るため警察との連携の上開始された。			
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? 特に意見・要望等はない			
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容 <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">改革改善を行う</td> <td>暴力団等排除対策事業を連携することにより警察との連携が強化されるが、不当要求行為等対策事業については、対象が市職員のみである。</td> </tr> </table>		改革改善を行う	暴力団等排除対策事業を連携することにより警察との連携が強化されるが、不当要求行為等対策事業については、対象が市職員のみである。
改革改善を行う	暴力団等排除対策事業を連携することにより警察との連携が強化されるが、不当要求行為等対策事業については、対象が市職員のみである。		

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 不当要求行為を未然に防ぎ、職員の安全を守ることで事務事業を適正に執行することができるため結びついている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 行政対象暴力、民事介入暴力が多発傾向にある中で、職員の安全を守り、事務事業を円滑かつ適正に執行するために必要な事務事業であり、対象が職員であるため市が行うことは妥当である。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない 現在まで不当要求事例はなく向上の余地はない。
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 不当要求行為があった場合、組織的な取り組みができなくなる恐れがある。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名 暴力団排除対策事業 <input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる 暴力団排除対策事業と連携することで、警察との連携が強化される。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか? やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 事業費はなく、人件費についても必要最低限であり、削減の余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 全職員を対象にしており、公正・公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ⇨		(2) 全体総括(振り返り、反省点) 平成28年度の不当要求行為は0件。 職員の安全確保のためには、常に組織内の連携を密にしておくべきである。																		
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 (複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持 低下</td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持 低下		○	×
		コスト																		
		削減	維持	増加																
成果	向上																			
	維持 低下		○	×																
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																				
(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果		コスト削減優先度評価結果																		

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 確認欄 <input type="checkbox"/>
--	---